

『多段階浸水想定図・水害リスクマップ』の公表
～【流域治水の取組】現在の水害リスクの見える化を図ります～

国や都道府県では、これまで、水防法に基づき住民等の迅速かつ円滑な避難に資する水害リスク情報として、想定最大規模降雨を対象とした「洪水浸水想定区域図」を作成し公表してきました。

那賀川河川事務所では、上記に加えて、土地利用や住まい方の工夫の検討及び水災害リスクを踏まえた防災まちづくりの検討など、流域治水の取組を推進することを目的として、「多段階浸水想定図」及び「水害リスクマップ」を作成しましたので公表します。

今回公表する多段階浸水想定図及び水害リスクマップは、国管理河川からの氾濫による浸水について表現した図となります。

1. 対象河川：那賀川、桑野川、派川那賀川
2. 対象範囲：国管理区間
3. 公表内容：多段階浸水想定図
水害リスクマップ
4. 掲載箇所：<http://www.skr.mlit.go.jp/nakagawa/disaster-prev/riskmap/index.html>

今後は、国管理河川以外の河川氾濫や内水氾濫による浸水についても考慮した図を作成・公表していく予定としています。

※多段階浸水想定図および水害リスクマップは、水防法に基づく図ではありません。

※計画規模および想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年5月に指定・公表したものを表示しているため、計算条件が異なります。

※今回公表する水害リスクマップは、表示方法等を変更する可能性があるため、「暫定版」となります。

本施策は、四国圏広域地方計画【No.1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト】の取組に該当します。

《問い合わせ先》 ◎主たる問い合わせ先

国土交通省 四国地方整備局

那賀川河川事務所 調査課 TEL：0884-22-6562

◎副所長 やの しんじ 矢野 慎二（内線 204）

調査課長 かわひと よしかつ 川人 義功（内線 351）

那賀川水系 那賀川の浸水想定図(1/10規模降雨)

【現況河道】

1. 説明文
- (1) この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%))の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。
 - (2) この浸水想定図は、現況の那賀川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%))の降雨に伴う洪水により那賀川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
 - (3) このシミュレーションの実施にあたっては、外水氾濫(洪水の上昇に伴う破堤氾濫、無堤部の溢水氾濫、越水による氾濫、侵食破堤、浸透破堤)を想定したものであり、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定域に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(昭和43年7月型)を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
2. 基本事項等
- (1) 公表年月日 令和4年8月29日
 - (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省四国地方整備局
・那賀川河川事務所: 那賀川水系那賀川
 - (3) 実施区間
【那賀川河川事務所】
・那賀川
左岸: 徳島県阿南市十八町宮ノ前13番地先から海まで
右岸: 徳島県阿南市加茂町大西56番1地先から海まで
 - (4) 算出の前提となる降雨 年超過確率1/10(那賀川流域の2日間の総雨量473mm)
 - (5) 河道条件 現況
 - (6) 関係市町村 阿南市、小松島市
- ※この多段階浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。



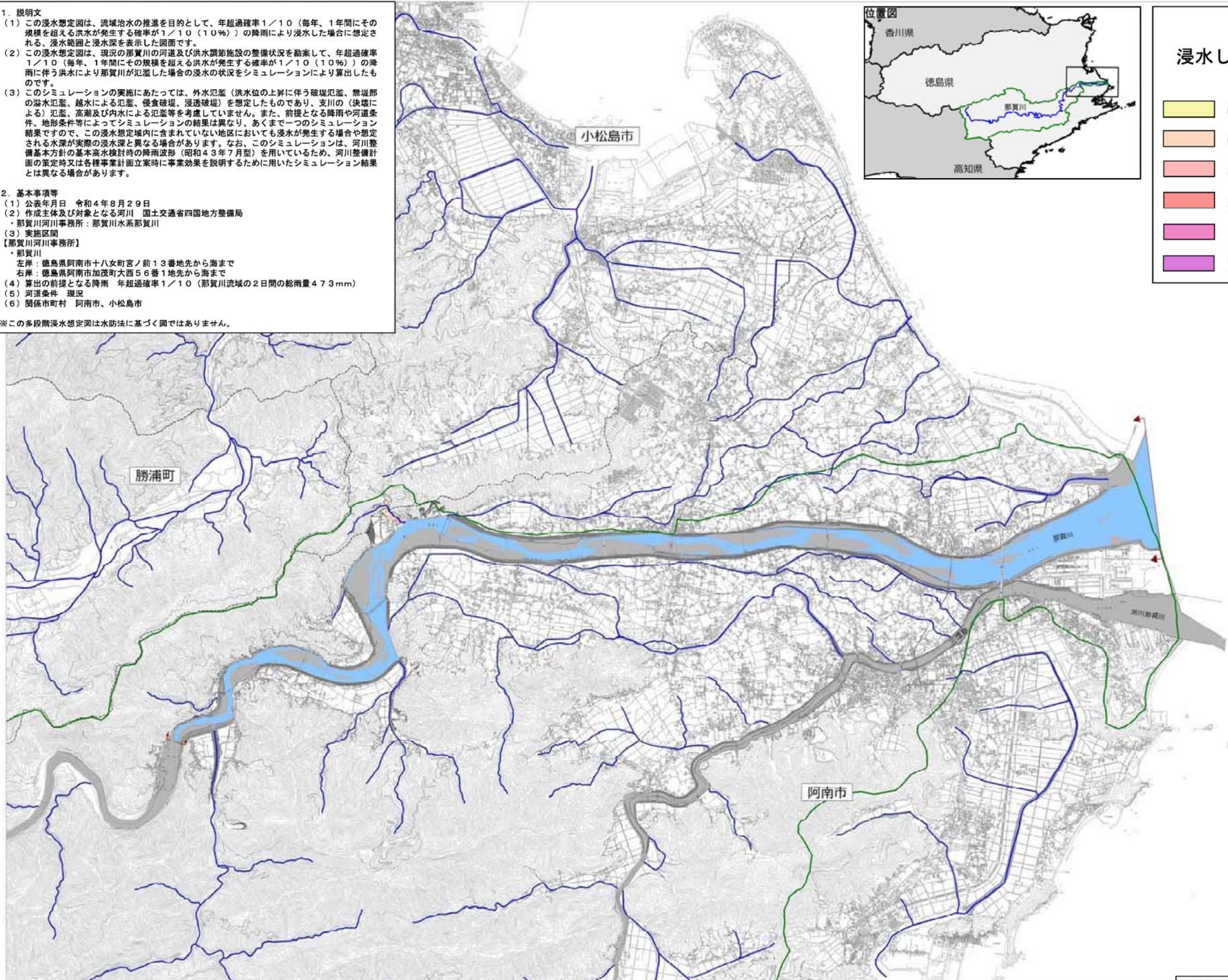
凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

0.5m未満の区域
0.5m~3.0m未満の区域
3.0m~5.0m未満の区域
5.0m~10.0m未満の区域
10.0m~20.0m未満の区域
20.0m以上の区域

基本情報

流域界
河川
大臣管理区間
県管理区間
市町村界



那賀川水系 那賀川の浸水想定図(1/30規模降雨)

【現況河道】

1. 説明文
- (1) この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%))の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。
 - (2) この浸水想定図は、現況の那賀川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%))の降雨に伴う洪水により那賀川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
 - (3) このシミュレーションの実施にあたっては、外水氾濫(洪水位の上昇に伴う破堤氾濫、無堤部の溢水氾濫、越水による氾濫、侵食破堤、浸透破堤)を想定したものであり、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定域に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(昭和43年7月型)を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
2. 基本事項等
- (1) 公表年月日 令和4年8月29日
 - (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省四国地方整備局
・那賀川河川事務所：那賀川水系那賀川
 - (3) 実施区間
【那賀川河川事務所】
・那賀川
左岸：徳島県阿南市十八町宮ノ前13番地先から海まで
右岸：徳島県阿南市加茂町大西56番1地先から海まで
 - (4) 算出の前提となる降雨 年超過確率1/30(那賀川流域の2日間の総雨量554mm)
 - (5) 河道条件 現況
 - (6) 関係市町村 阿南市、小松島市
- ※この多段階浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。



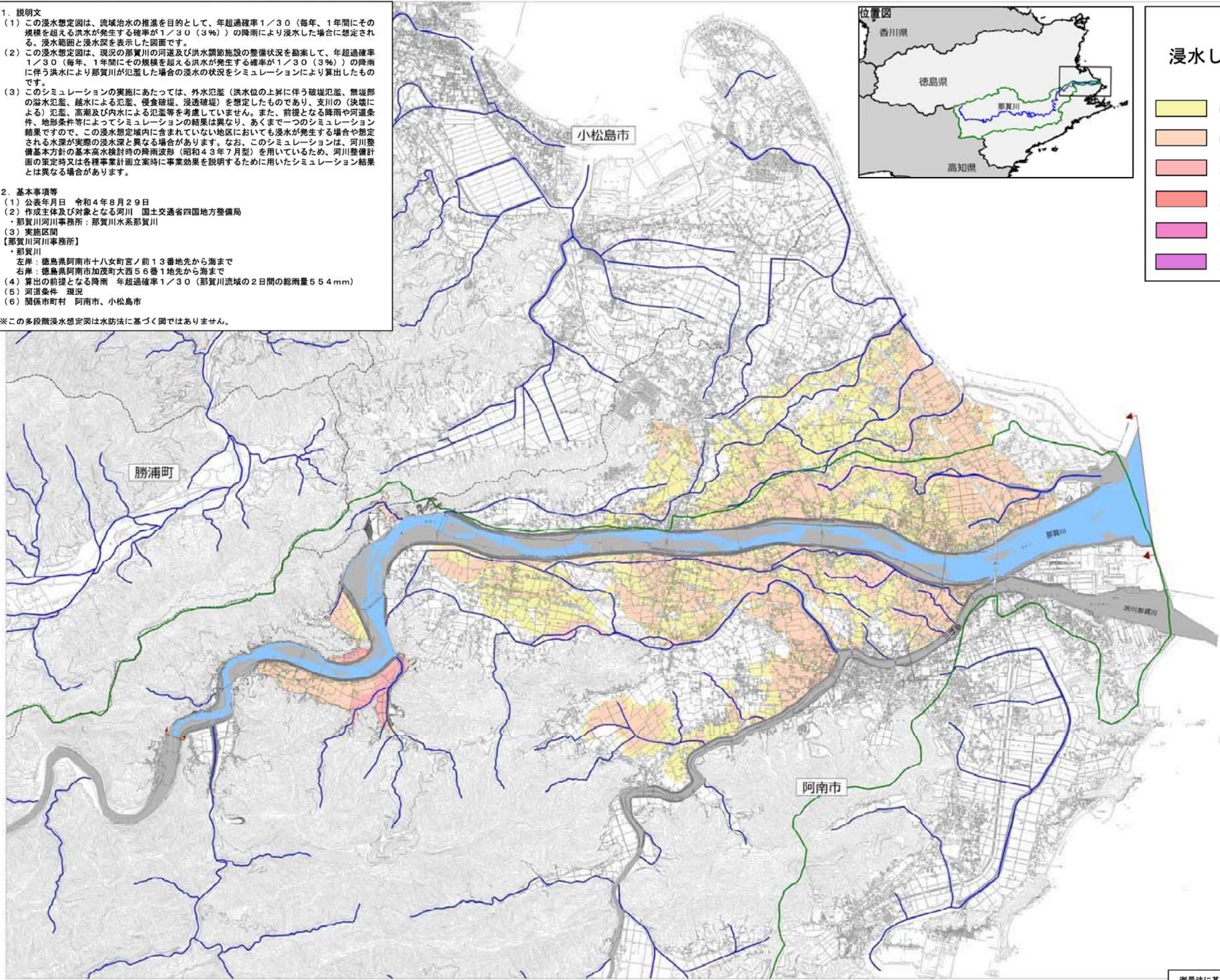
凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

	0.5m未満の区域
	0.5m~3.0m未満の区域
	3.0m~5.0m未満の区域
	5.0m~10.0m未満の区域
	10.0m~20.0m未満の区域
	20.0m以上の区域

基本情報

	流域界
	河川
	大臣管理区間
	県管理区間
	市町村界



那賀川水系 那賀川の浸水想定図(1/50規模降雨)

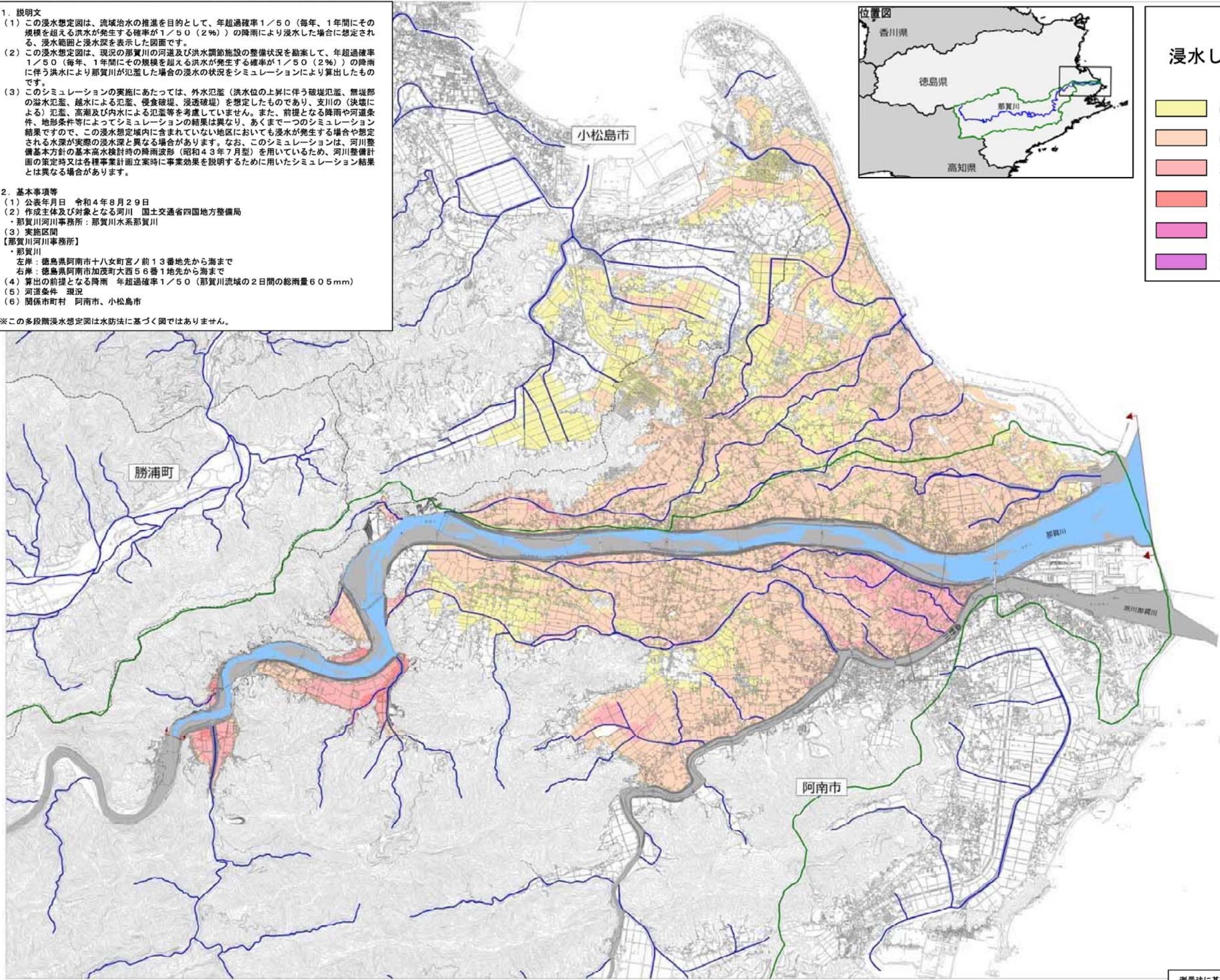
【現況河道】

1. 説明文
- (1) この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%))の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。
 - (2) この浸水想定図は、現況の那賀川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%))の降雨に伴う洪水により那賀川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
 - (3) このシミュレーションの実施にあたっては、外水氾濫(洪水位の上昇に伴う破堤氾濫、無堤部の溢水氾濫、越水による氾濫、侵食破堤、浸透破堤)を想定したものであり、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定域に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(昭和43年7月型)を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
2. 基本事項等
- (1) 公表年月日 令和4年8月29日
 - (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省四国地方整備局
・那賀川河川事務所：那賀川水系那賀川
 - (3) 実施区間
【那賀川河川事務所】
・那賀川
左岸：徳島県阿南市十八町宮ノ前13番地先から海まで
右岸：徳島県阿南市加茂町大西56番1地先から海まで
 - (4) 算出の前提となる降雨 年超過確率1/50(那賀川流域の2日間の総雨量605mm)
 - (5) 河道条件 現況
 - (6) 関係市町村 阿南市、小松島市
- ※この多段階浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。



- 凡例
- 浸水した場合に想定される水深(ランク別)
- 0.5m未満の区域
 - 0.5m~3.0m未満の区域
 - 3.0m~5.0m未満の区域
 - 5.0m~10.0m未満の区域
 - 10.0m~20.0m未満の区域
 - 20.0m以上の区域

- 基本情報
- 流域界
 - 河川
 - 大臣管理区間
 - 県管理区間
 - 市町村界



那賀川水系 那賀川からの氾濫を想定した水害リスクマップ

暫定版

【現況河道】

浸水が想定される範囲を表示

1. 説明文

- この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50の降雨により浸水した場合に想定される多段階浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水発生）を示した図面です。
- この水害リスクマップは、現況の那賀川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10（10%））、年超過確率1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30（3%））、年超過確率1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50（2%））の降雨に伴う洪水により那賀川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
- このシミュレーションの実施にあたっては、外水氾濫（洪水位の上昇に伴う破堤氾濫、無堤部の溢水氾濫、越水による氾濫、侵食破堤、浸透破堤）を想定したものであり、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（昭和43年7月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
- 計画規模（中低頻度）および想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年5月に指定・公表したものを表示しているため、計算条件が異なります。

2. 基本事項等

- 公表年月日 令和4年8月29日
- 作成主体及び対象となる河川 国土交通省四国地方整備局
・那賀川河川事務所：那賀川水系那賀川
- 実施区間
【那賀川河川事務所】
・那賀川
左岸：徳島県阿南市十八女町宮ノ前1番地先から海まで
右岸：徳島県阿南市加茂町大西5番1地先から海まで
- 算出の前提となる降雨
・年超過確率1/10（那賀川流域の2日間の総雨量473mm）
・年超過確率1/30（那賀川流域の2日間の総雨量554mm）
・年超過確率1/50（那賀川流域の2日間の総雨量605mm）
- 河道条件 現況
- 関係市町村 阿南市、小松島市

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。



凡例

- 高頻度 (1/10)
- 中高頻度 (1/30)
- 中頻度 (1/50)
- 中低頻度 (1/100)
- 想定最大規模

基本情報

- 流域界
- 河川
- 大臣管理区間
- 県管理区間
- 市町村界

区域

- 市街化区域
- 人口集中 (DID) 地区
- 都市機能誘導区域
- 居住誘導区域

重要施設

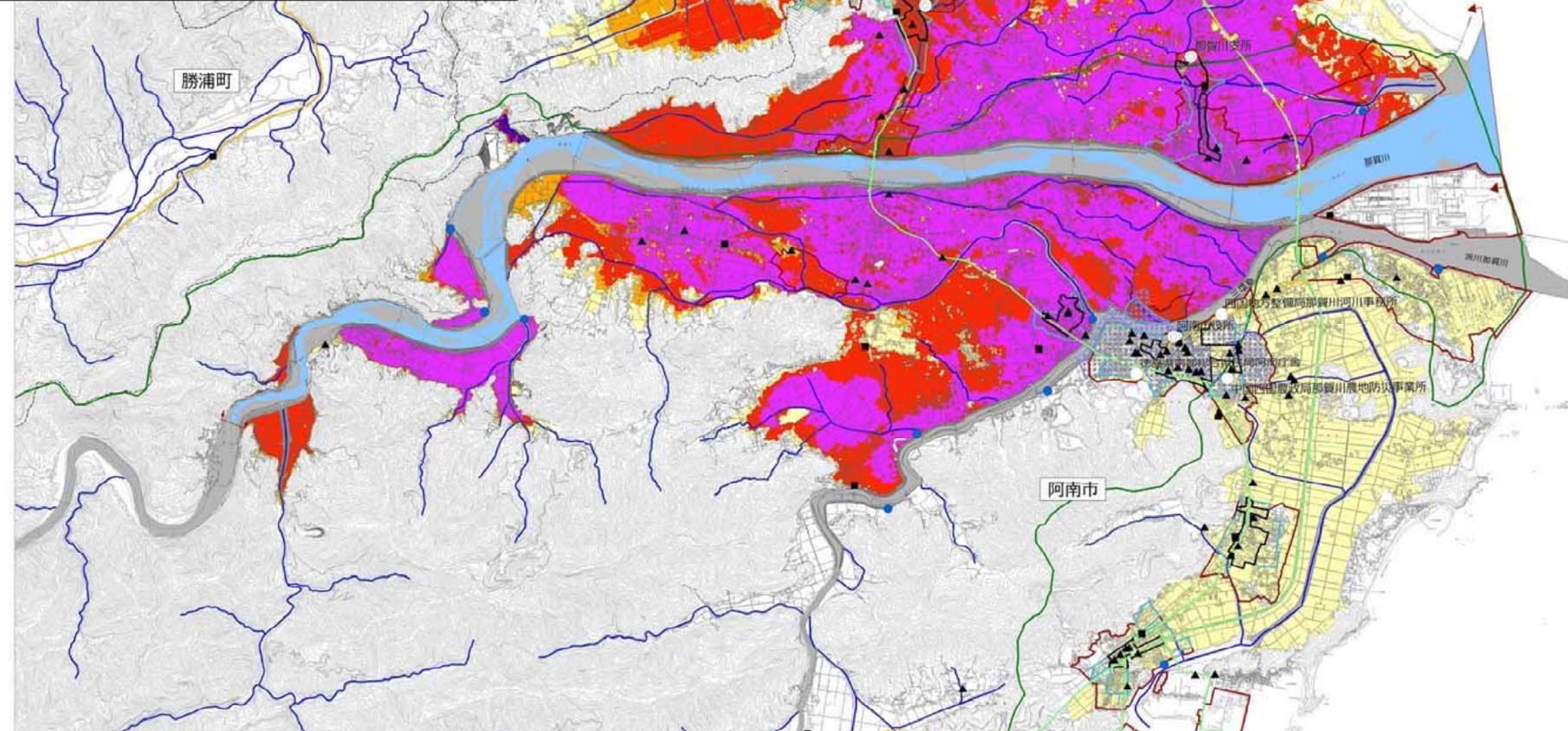
- 自治体庁舎
- 国・県庁舎
- 警察・消防
- 病院

排水施設

- 排水機場
- ポンプ場

道路

- 第1次緊急輸送道路
- 第2次緊急輸送道路



那賀川水系 那賀川からの氾濫を想定した水害リスクマップ

暫定版

【現況河道】

浸水深50cm (床上浸水相当)以上の
浸水が想定される範囲を表示

1. 説明文

- この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50の降雨により浸水した場合に想定される多段階浸水想定区を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲(浸水深50cm(床上浸水相当)以上)を示した図面です。
- この水害リスクマップは、現況の那賀川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%)、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%)、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%))の降雨に伴う洪水により那賀川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
- このシミュレーションの実施にあたっては、外水氾濫(洪水位の上昇に伴う破壊氾濫、無堤部の溢水氾濫、越水による氾濫、浸食破壊、浸透破壊)を想定したものであり、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(昭和43年7月型)を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
- 計画規模(中低頻度)および想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年5月に指定・公表したものを表示しているため、計算条件が異なります。

2. 基本事項等

- 公表年月日 令和4年8月29日
- 作成主体及び対象となる河川 国土交通省四国地方整備局
・那賀川河川事務所：那賀川水系那賀川
- 実施区間
【那賀川河川事務所】
・那賀川
左岸：徳島県阿南市十八女町宮ノ前1番地先から海まで
右岸：徳島県阿南市加茂町大西5番1地先から海まで
- 算出の前提となる降雨
・年超過確率1/10(那賀川流域の2日間の総雨量473mm)
・年超過確率1/30(那賀川流域の2日間の総雨量554mm)
・年超過確率1/50(那賀川流域の2日間の総雨量605mm)
- 河道条件 現況
- 関係市町村 阿南市、小松島市

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

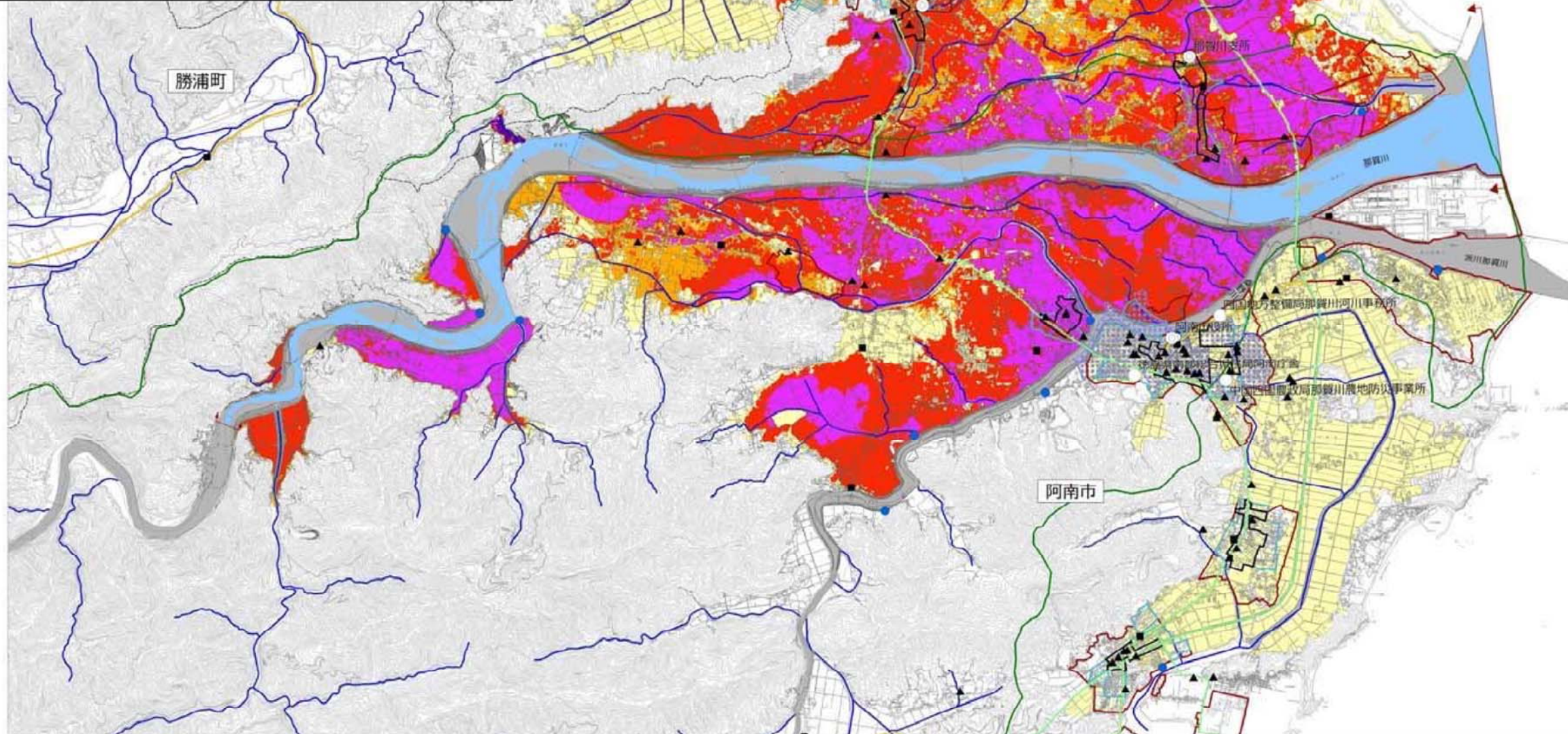


凡例

- 高頻度 (1/10)
- 中高頻度 (1/30)
- 中頻度 (1/50)
- 中低頻度 (1/100)
- 想定最大規模

基本情報

- 流域界
- 河川
- 大臣管理区間
- 県管理区間
- 市町村界
- 区域
 - 市街化区域
 - 人口集中(DID)地区
 - 都市機能誘導区域
 - 居住誘導区域
- 重要施設
 - 自治体庁舎
 - 国・県庁舎
 - 警察・消防
 - 病院
- 排水施設
 - 排水機場
 - ポンプ場
- 道路
 - 第1次緊急輸送道路
 - 第2次緊急輸送道路



那賀川水系 那賀川からの氾濫を想定した水害リスクマップ

暫定版

【現況河道】

浸水深3m（1階居室浸水相当）以上の
浸水が想定される範囲を表示

1. 説明文

- この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50の降雨により浸水した場合に想定される多段階浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水深3m（1階居室浸水相当）以上）を示した図面です。
- この水害リスクマップは、現況の那賀川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10（10%））、年超過確率1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30（3%））、年超過確率1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50（2%））の降雨に伴う洪水により那賀川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
- このシミュレーションの実施にあたっては、外水氾濫（洪水位の上昇に伴う破堤氾濫、無堤部の溢水氾濫、越水による氾濫、浸食破堤、浸透破堤）を想定したものであり、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（昭和43年7月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
- 計画規模（中低頻度）および想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年5月に指定・公表したものを表示しているため、計算条件が異なります。

2. 基本事項等

- 公表年月日 令和4年8月29日
- 作成主体及び対象となる河川 国土交通省四国地方整備局
・那賀川河川事務所：那賀川水系那賀川
- 実施区間
【那賀川河川事務所】
・那賀川
左岸：徳島県阿南市十八女町宮ノ前1番地先から海まで
右岸：徳島県阿南市加茂町大西5番1地先から海まで
- 算出の前提となる降雨
・年超過確率1/10（那賀川流域の2日間の総雨量473mm）
・年超過確率1/30（那賀川流域の2日間の総雨量554mm）
・年超過確率1/50（那賀川流域の2日間の総雨量605mm）
- 河道条件 現況
- 関係市町村 阿南市、小松島市

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

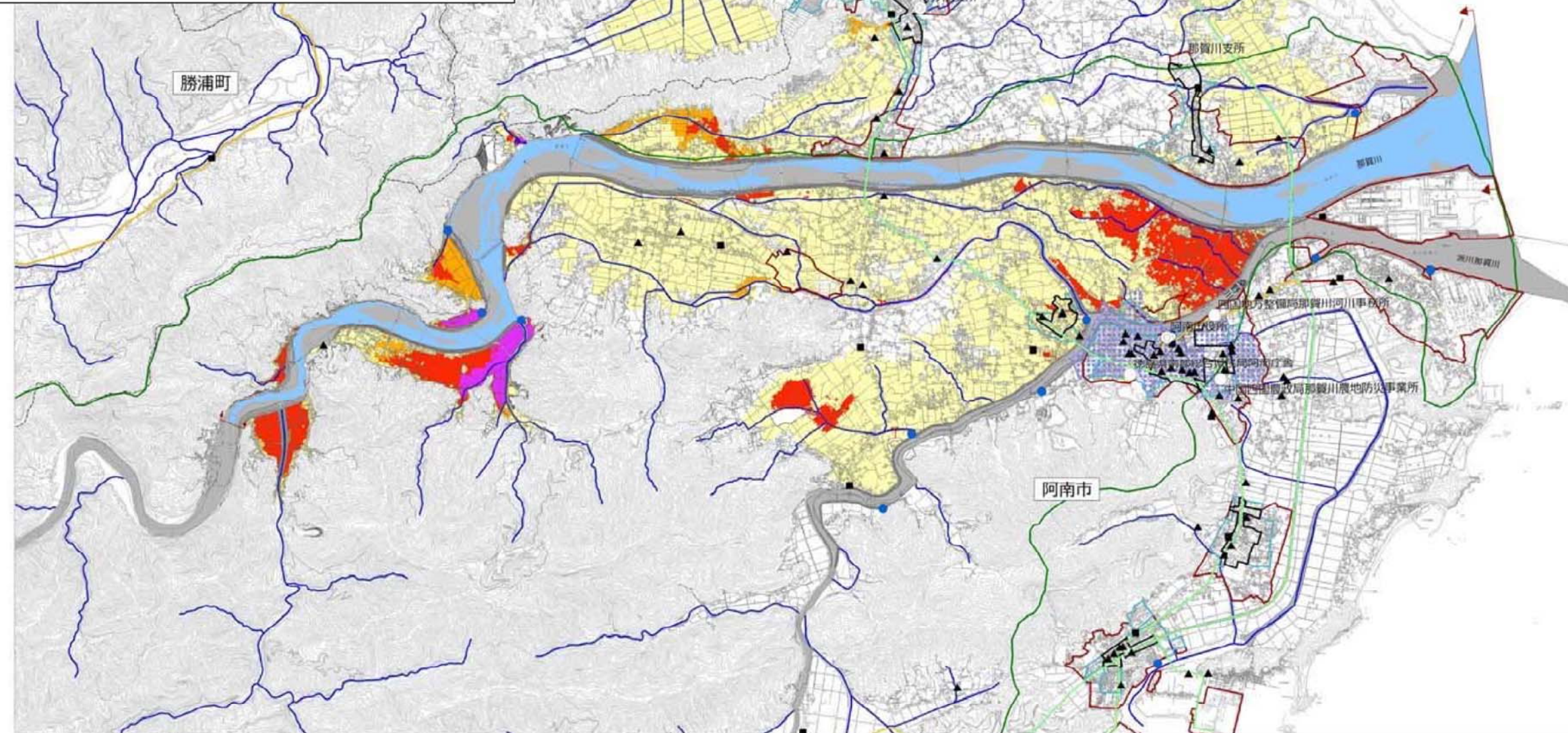


凡例

- 高頻度 (1/10)
- 中高頻度 (1/30)
- 中頻度 (1/50)
- 中低頻度 (1/100)
- 想定最大規模

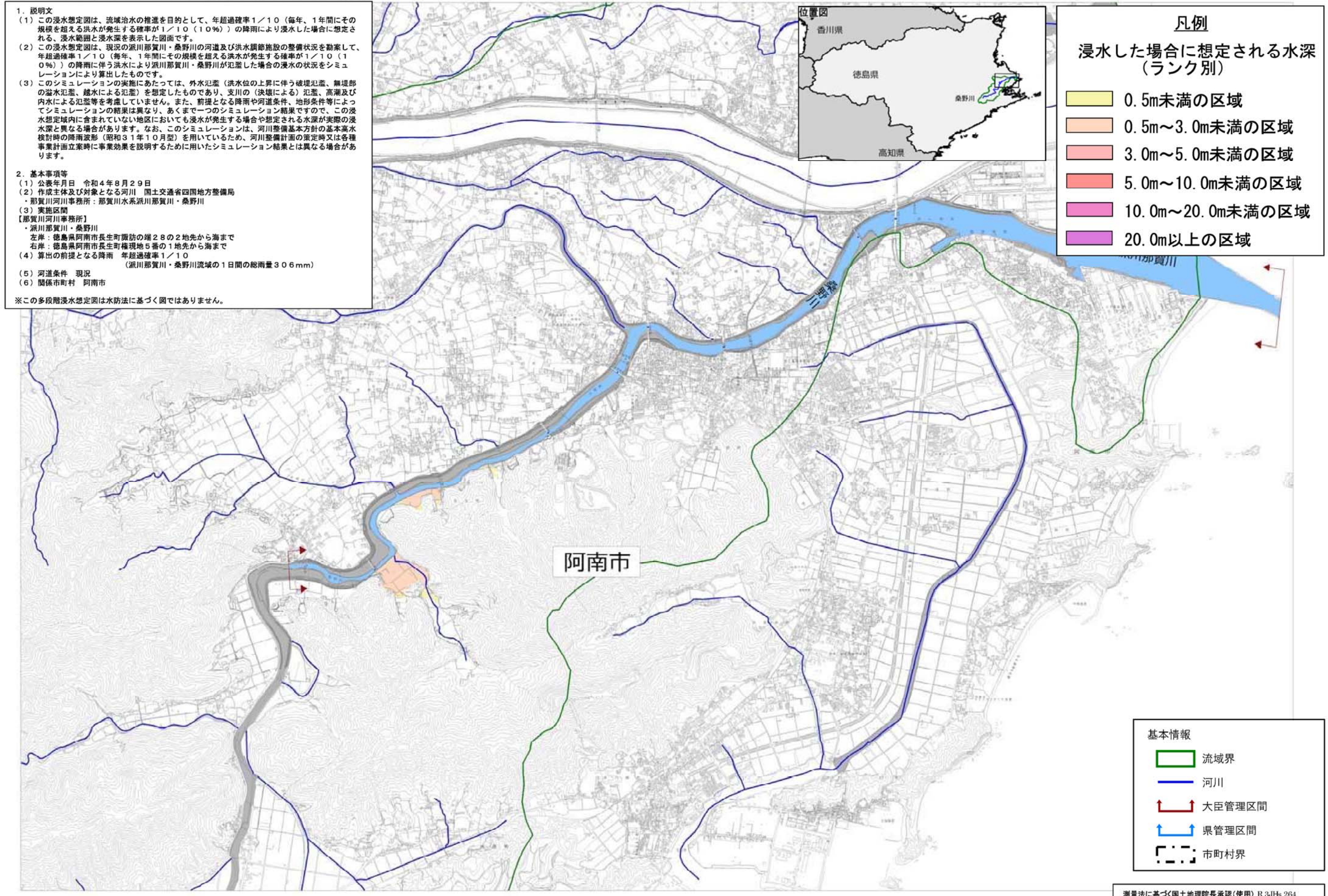
基本情報

- 流域界
- 河川
- 大臣管理区間
- 県管理区間
- 市町村界
- 区域
 - 市街化区域
 - 人口集中 (DID) 地区
 - 都市機能誘導区域
 - 居住誘導区域
- 重要施設
 - 自治体庁舎
 - 国・県庁舎
 - 警察・消防
 - 病院
- 排水施設
 - 排水機場
 - ポンプ場
- 道路
 - 第1次緊急輸送道路
 - 第2次緊急輸送道路



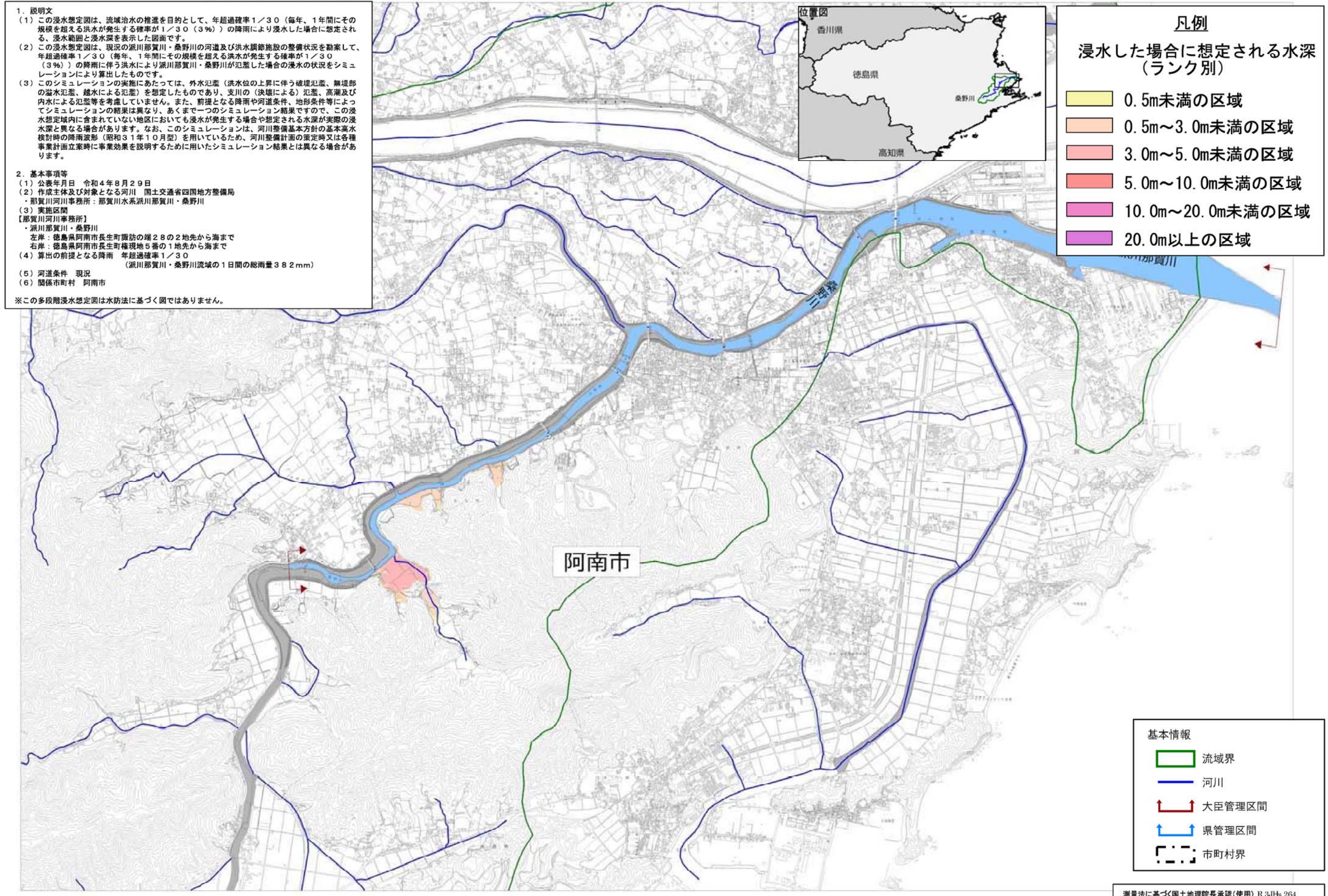
那賀川水系 派川那賀川・桑野川の浸水想定図(1/10規模降雨)

【現況河道】



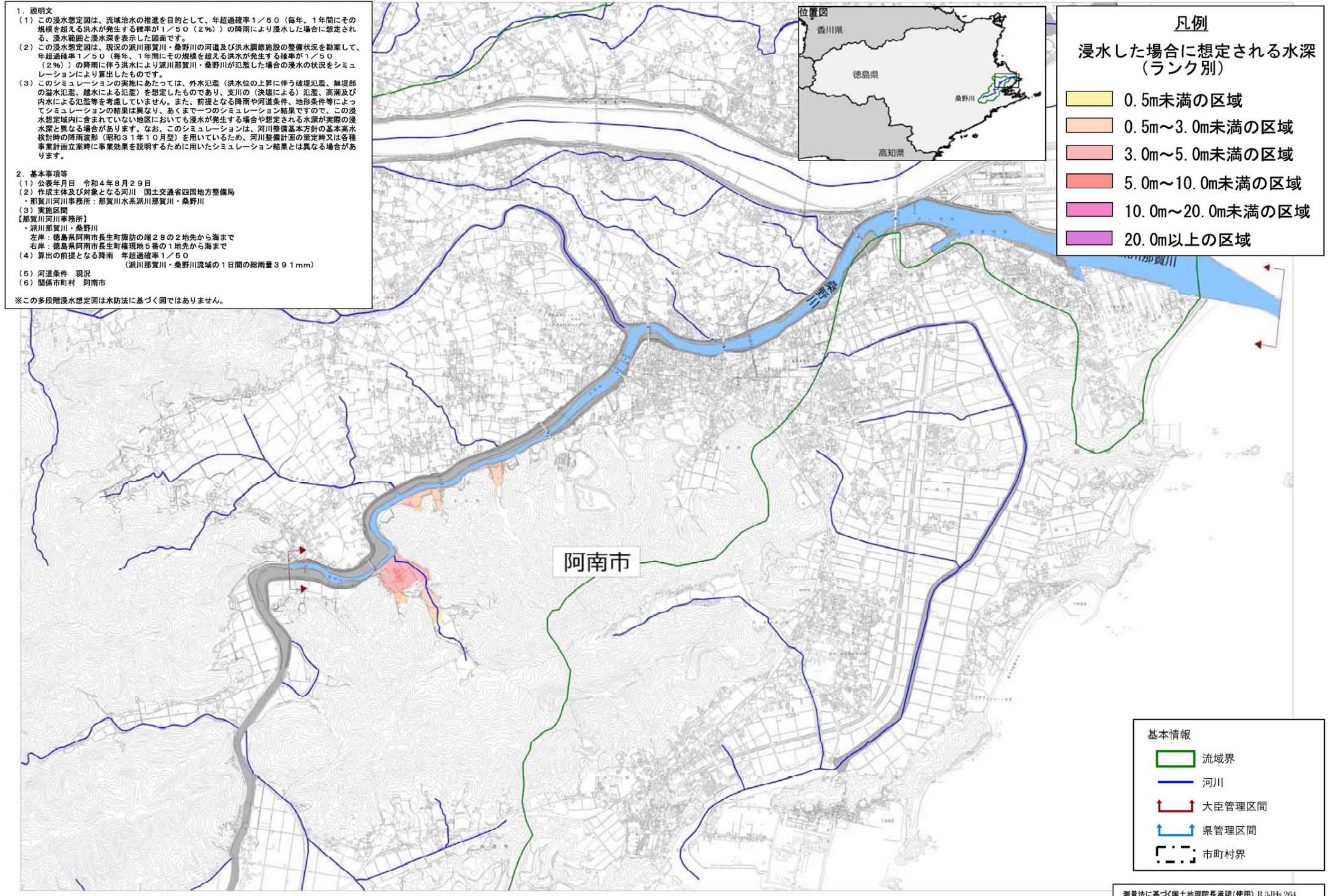
那賀川水系 派川那賀川・桑野川の浸水想定図(1/30規模降雨)

【現況河道】



那賀川水系 派川那賀川・桑野川の浸水想定図(1/50規模降雨)

【現況河道】



那賀川水系 派川那賀川・桑野川からの氾濫を想定した水害リスクマップ

暫定版

【現況河道】

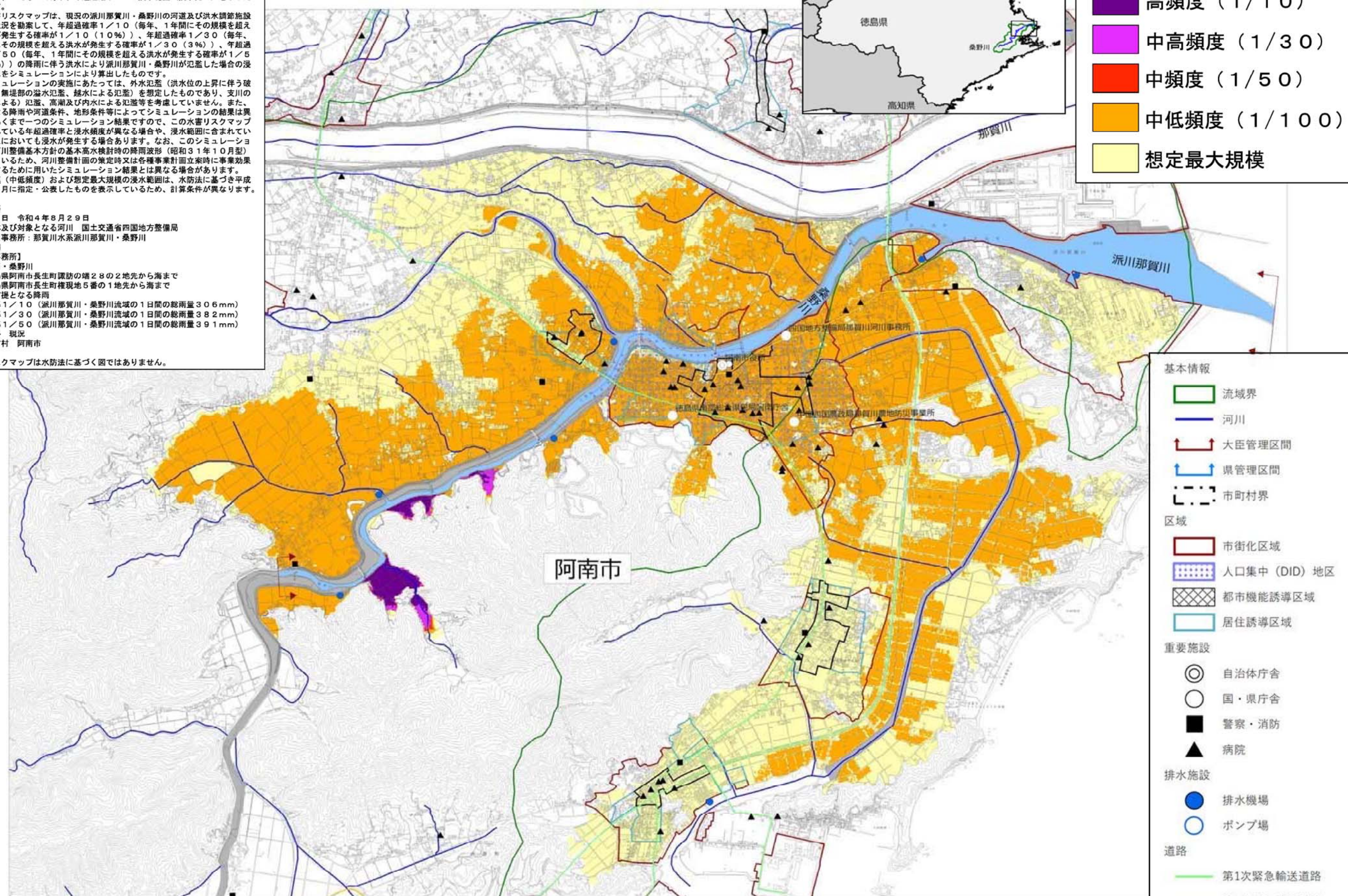
浸水が想定される範囲を表示

1. 説明文
- (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50の降雨により浸水した場合に想定される多段階浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水発生）を示した図面です。
 - (2) この水害リスクマップは、現況の派川那賀川・桑野川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10（10%））、年超過確率1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30（3%））、年超過確率1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50（2%））の降雨に伴う洪水により派川那賀川・桑野川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
 - (3) このシミュレーションの実施にあたっては、外水氾濫（洪水位の上昇に伴う破堤氾濫、無堤部の溢水氾濫、越水による氾濫）を想定したものであり、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（昭和31年10月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
 - (4) 計画規模（中低頻度）および想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年6月に指定・公表したものを表示しているため、計算条件が異なります。
2. 基本事項等
- (1) 公表年月日 令和4年8月29日
 - (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省四国地方整備局
那賀川河川事務所：那賀川水系派川那賀川・桑野川
 - (3) 実施区間
【那賀川河川事務所】
・派川那賀川・桑野川
左岸：徳島県阿南市長生町諏訪の端28の2地先から海まで
右岸：徳島県阿南市長生町権現地5番の1地先から海まで
 - (4) 算出の前提となる降雨
・年超過確率1/10（派川那賀川・桑野川流域の1日間の総雨量306mm）
・年超過確率1/30（派川那賀川・桑野川流域の1日間の総雨量382mm）
・年超過確率1/50（派川那賀川・桑野川流域の1日間の総雨量391mm）
 - (5) 河道条件 現況
 - (6) 関係市町村 阿南市
- ※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。



凡例

- 高頻度 (1/10)
- 中高頻度 (1/30)
- 中頻度 (1/50)
- 中低頻度 (1/100)
- 想定最大規模



基本情報

- 流域界
- 河川
- 大臣管理区間
- 県管理区間
- 市町村界

区域

- 市街化区域
- 人口集中 (DID) 地区
- 都市機能誘導区域
- 居住誘導区域

重要施設

- 自治体庁舎
- 国・県庁舎
- 警察・消防
- 病院

排水施設

- 排水機場
- ポンプ場

道路

- 第1次緊急輸送道路
- 第2次緊急輸送道路

那賀川水系 派川那賀川・桑野川からの氾濫を想定した水害リスクマップ

暫定版

【現況河道】

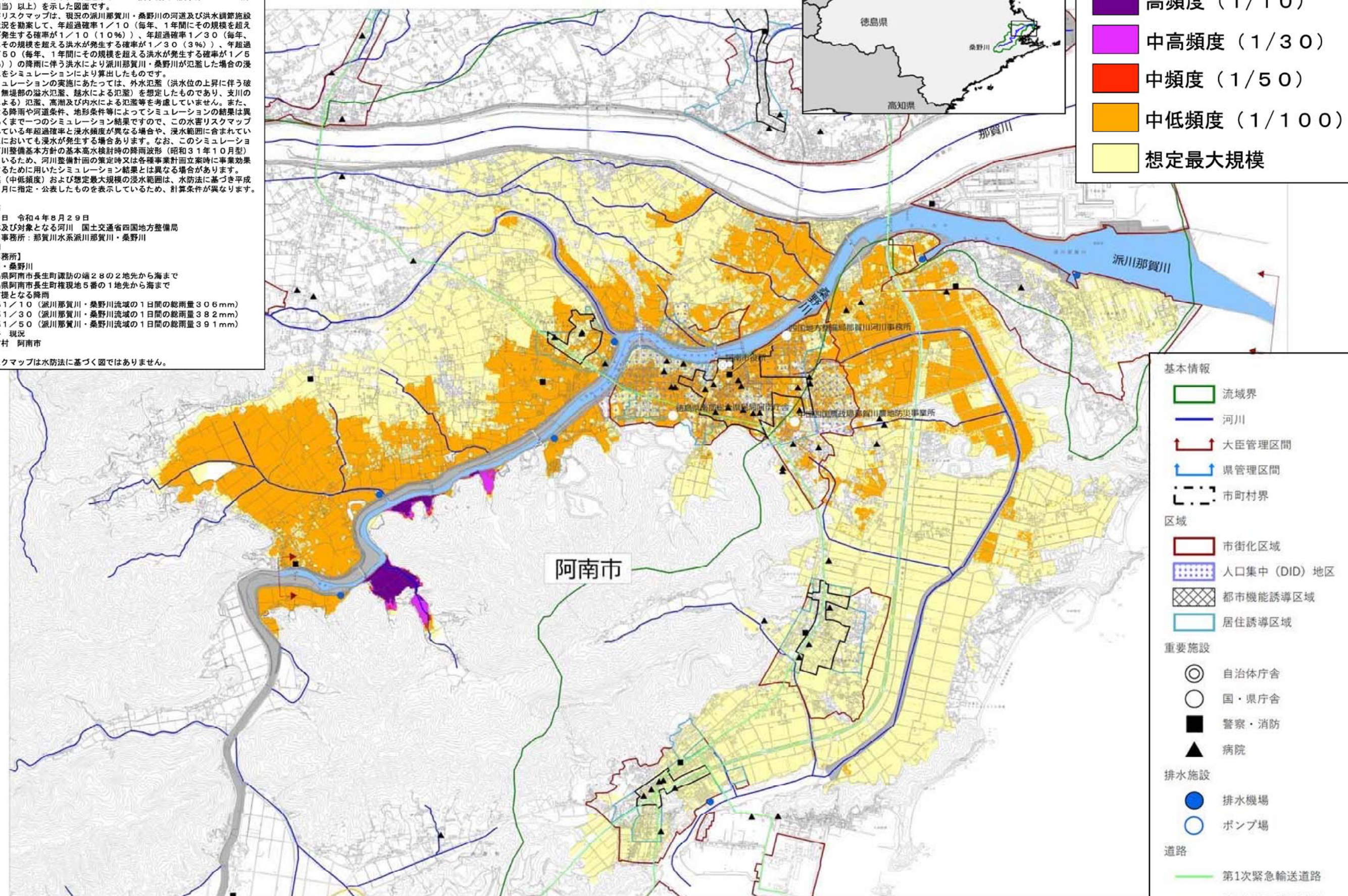
浸水深50cm（床上浸水相当）以上の
浸水が想定される範囲を表示

1. 説明文
- (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50の降雨により浸水した場合に想定される多段階浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水深50cm（床上浸水相当）以上）を示した図面です。
 - (2) この水害リスクマップは、現況の派川那賀川・桑野川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10（10%））、年超過確率1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30（3%））、年超過確率1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50（2%））の降雨に伴う洪水により派川那賀川・桑野川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
 - (3) このシミュレーションの実施にあたっては、外水氾濫（洪水位の上昇に伴う破堤氾濫、無堤部の溢水氾濫、越水による氾濫）を想定したものであり、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（昭和31年10月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
 - (4) 計画規模（中低頻度）および想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年5月に指定・公表したものを表示しているため、計算条件が異なります。
2. 基本事項等
- (1) 公表年月日 令和4年8月29日
 - (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省四国地方整備局
那賀川河川事務所：那賀川水系派川那賀川・桑野川
 - (3) 実施区間
【那賀川河川事務所】
・派川那賀川・桑野川
左岸：徳島県阿南市市長生町諏訪の端28の2地先から海まで
右岸：徳島県阿南市市長生町権現地5番の1地先から海まで
 - (4) 算出の前提となる降雨
・年超過確率1/10（派川那賀川・桑野川流域の1日間の総雨量306mm）
・年超過確率1/30（派川那賀川・桑野川流域の1日間の総雨量382mm）
・年超過確率1/50（派川那賀川・桑野川流域の1日間の総雨量391mm）
 - (5) 河運条件 現況
 - (6) 関係市町村 阿南市
- ※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。



凡例

- 高頻度（1/10）
- 中高頻度（1/30）
- 中頻度（1/50）
- 中低頻度（1/100）
- 想定最大規模



基本情報

- 流域界
- 河川
- 大臣管理区間
- 県管理区間
- 市町村界

区域

- 市街化区域
- 人口集中（DID）地区
- 都市機能誘導区域
- 居住誘導区域

重要施設

- 自治体庁舎
- 国・県庁舎
- 警察・消防
- 病院

排水施設

- 排水機場
- ポンプ場

道路

- 第1次緊急輸送道路
- 第2次緊急輸送道路

那賀川水系 派川那賀川・桑野川からの氾濫を想定した水害リスクマップ

暫定版

【現況河道】

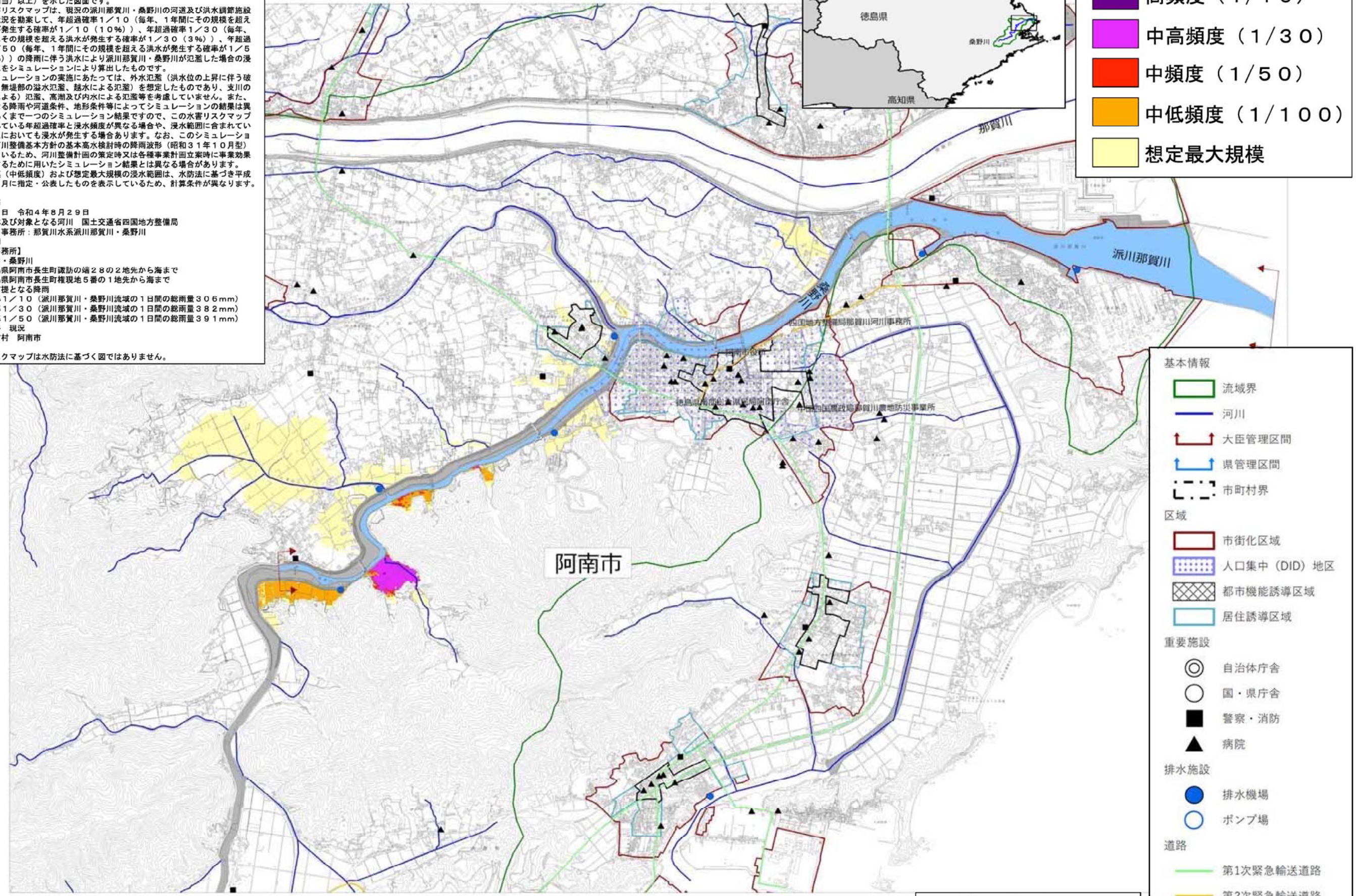
浸水深3m (1階居室浸水相当)以上の
浸水が想定される範囲を表示

1. 説明文
- (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50の降雨により浸水した場合に想定される多段階浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水深3m（1階居室浸水相当）以上）を示した図面です。
 - (2) この水害リスクマップは、現況の派川那賀川・桑野川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10（10%））、年超過確率1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30（3%））、年超過確率1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50（2%））の降雨に伴う洪水により派川那賀川・桑野川が氾濫した場合の浸水の状態をシミュレーションにより算出したものです。
 - (3) このシミュレーションの実施にあたっては、外水氾濫（洪水位の上昇に伴う破堤氾濫、無堤部の溢水氾濫、越水による氾濫）を想定したものであり、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（昭和31年10月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
 - (4) 計画規模（中低頻度）および想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年5月に指定・公表したものを表示しているため、計算条件が異なります。
2. 基本事項等
- (1) 公表年月日 令和4年8月29日
 - (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省四国地方整備局
那賀川河川事務所：那賀川水系派川那賀川・桑野川
 - (3) 実施区間
【那賀川河川事務所】
・派川那賀川・桑野川
左岸：徳島県阿南市長生町諏訪の端28の2地先から海まで
右岸：徳島県阿南市長生町権現地5番の1地先から海まで
 - (4) 算出の前提となる降雨
・年超過確率1/10（派川那賀川・桑野川流域の1日間の総雨量306mm）
・年超過確率1/30（派川那賀川・桑野川流域の1日間の総雨量382mm）
・年超過確率1/50（派川那賀川・桑野川流域の1日間の総雨量391mm）
 - (5) 河道条件 現況
 - (6) 関係市町村 阿南市
- ※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。



凡例

- 高頻度 (1/10)
- 中高頻度 (1/30)
- 中頻度 (1/50)
- 中低頻度 (1/100)
- 想定最大規模



基本情報

- 流域界
- 河川
- 大臣管理区間
- 県管理区間
- 市町村界

区域

- 市街化区域
- 人口集中 (DID) 地区
- 都市機能誘導区域
- 居住誘導区域

重要施設

- 自治体庁舎
- 国・県庁舎
- 警察・消防
- 病院

排水施設

- 排水機場
- ポンプ場

道路

- 第1次緊急輸送道路
- 第2次緊急輸送道路